□特 集

平成27年人口動態統計(概数)の概要-

合計特殊出生率が 0.02 ポイント上昇

- 全国は 0.04 ポイント上昇-

悪性新生物(がん)による死亡率が低下

-悪性新生物による死亡が、3年ぶりに総死亡数に占める割合の30%を割る-

自然減少数は昨年に引き続き5千人を超える

- 自然増減率は前年と同率だが、依然として自然減少が続く-

府健康福祉総務課

はじめに

人口動態統計は、出生・死亡・婚姻・離婚及び 死産の5種類の「人口動態事象」について、その 実態を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎 資料を得ることを目的として実施されています。

出生、死亡、婚姻及び離婚については、「戸籍法」による届出書から、死産については、「死産の届出に関する規程」による届書等から、その届出を受けた市区町村長が調査票を作成します。

これらの調査票は、保健所長、都道府県を経由し、厚生労働省に提出されます。

厚生労働省では、これらの調査票の毎月分及び 年間分を集計して、人口動態統計月報(概数)、 人口動態統計年報として公表しています。

この概要は、平成27年1月1日から12月31日までの間における京都府分について取りまとめたもので、数値は概数です。

1 出生

-出生数は前年より増加、出生率は前年と同率-平成27年の出生数は、1万9,644人で前年より 61人増加しました。

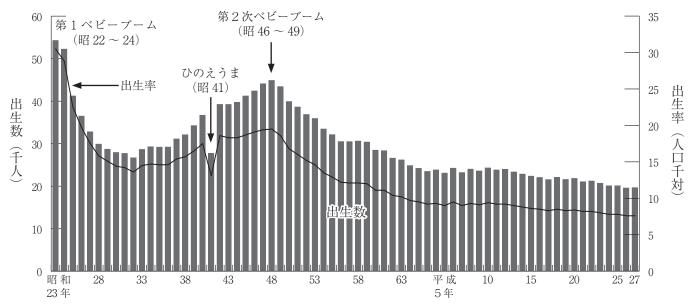
出生率(人口千対)は7.6で、前年と同率でした。 出生数の推移をみると、第1次ベビーブーム期 (昭和22年~24年)の、団塊の世代が誕生した 時期は5万人台で推移していましたが、その後急 激に減少し、昭和32年には2万6,688人まで低 下しました。その後、昭和41年(ひのえうまの年) を除いて増加に転じ、昭和48年には第2次ベ ビーブーム期のピークを迎えましたが、以後減少 傾向が続いています。 (表1、図1)

表 1 人口動態総覧、対前年比較

			実	:	数		펼	X	率 (全国)		
	平成 27 年 平成 26 年		平成 26 年	増 減	増減割合(%)	平均発生間隔	平成 27 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 26 年	
出	生	19,644	19,583	61	0.3	26分45秒	7.6	7.6	8.0	8.0	
死	亡	25,471	25,507	△ 36	△ 0.1	20分38秒	9.9	9.9	10.3	10.1	
(乳児死亡)	50	35	15	42.9	175 時間 12 分	2.5	1.8	1.9	2.1	
(₹	新生児死亡)	31	15	16	106.7	282 時間 34 分	1.6	0.8	0.9	0.9	
自	然 増 減	△ 5,827	△ 5,924	97	△ 1.6		$\triangle 2.3$	$\triangle 2.3$	$\triangle 2.3$	$\triangle 2.1$	
死	産	427	447	△ 20	△ 4.5	20 時間 30 分	21.3	22.3	22.0	22.9	
婚	姻	12,431	12,671	△ 240	△ 1.9	42分16秒	4.8	4.9	5.1	5.1	
離	婚	4,423	4,462	△ 39	△ 0.9	1 時間 58 分	1.72	1.74	1.80	1.77	

- 注1 平成26年は確定数
 - 2 出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は日本人人口千対、乳児・新生児死亡率は出生千対、死産率は出産(出生+死産)千対
 - 3 算出に用いた京都府の人口は、平成 27 年 = 2,570,000 人(平成 27 年 10 月 1 日現在都道府県・男女別人口(日本人人口))
 - 4 自然増減:出生数から死亡数を減じたもの
 - 5 乳児死亡:生後1年未満の死亡数
 - 6 新生児死亡:乳児死亡のうち、生後4週未満の死亡数
 - 7 死産:妊娠満12週以後の死児の出産
 - 8 平均発生間隔:1件当たりの事象発生が、どれだけの時間間隔をもって発生したかを表したもの

図1 出生数・出生率の年次推移



合計特殊出生率は 1.26

ー前年より 0.02 ポイント上昇 全国は 0.04 ポイント上昇ー

平成 27 年の出生率を母の年齢階級別にみると、最も出生率が高かったのは、 $30 \sim 34$ 歳の層で、出生率は 98.0 (出生数 7,254 人) となりました。

 $30 \sim 34$ 歳の出生率は、昭和 53 年以降上昇傾向にあり、平成 12 年には、 $25 \sim 29$ 歳の層を上回り、その後も出生数・率とも第 1 位となっています。

第 2 位は、 $25 \sim 29$ 歳の層で、出生率は 62.3(出生数 4,860 人)となりました。 $25 \sim 29$ 歳は昭和 47 年(出生率 213.8)をピークに低下傾向が続いています。

第3位は35~39歳の層で、出生率55.4(出生数4,706人)となり、上昇傾向が続いています。

第4位は $20 \sim 24$ 歳の層で出生率21.5(出生数1,462人)となり、出生率については、前年より0.7ポイント上昇しました。 (図2)

図2 母の年齢階級別出生率の年次推移(人口千対)

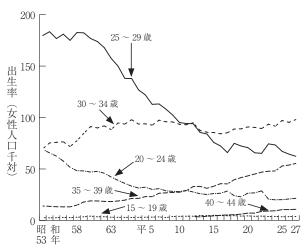


表2 合計特殊出生率の推移

年次	京都府	全国
昭和 40 年※	2.02	2.14
45 **	2.02	2.13
50 **	1.81	1.91
55 **	1.67	1.75
60 **	1.68	1.76
平成2年※	1.48	1.54
7 *	1.33	1.42
12 **	1.28	1.36
17 **	1.18	1.26
18	1.19	1.32
19	1.18	1.34
20	1.22	1.37
21	1.20	1.37
22 **	1.28	1.39
23	1.25	1.39
24	1.23	1.41
25	1.26	1.43
26	1.24	1.42
27 **	1.26	1.46

※は国勢調査年

合計特殊出生率とは、その年の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した値で、その年の女性の年齢別出生傾向が将来も変わらないと仮定した場合、1人の女性が一生の間に生む平均の子供の数に相当します。

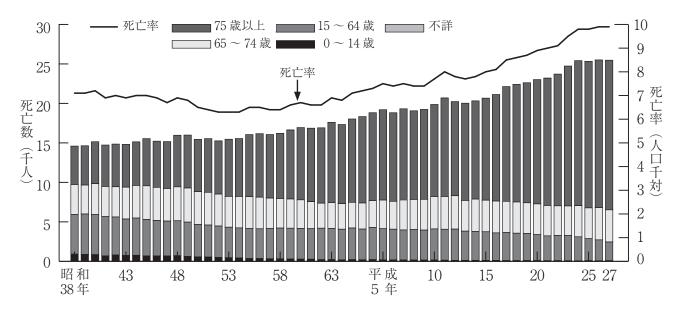
2 死 亡

- 死亡数は減少、死亡率は前年と同率-

平成27年の死亡数は2万5,471人で、前年より36人減少し、死亡率(人口千対)は9.9で、前年と同率でした。 (表1、図3)

死亡数の推移をみると、昭和44年以降1万5千人~1万9千人台で推移していましたが、 平成11年に2万人台となって以後、ゆるやかな 増加傾向が続いています。 年齢別死亡数では、 $15 \sim 74$ 歳の世代は前年を下回りましたが、 $0 \sim 14$ 歳、75歳以上の世代は増加しました。死亡率は昭和 35年(死亡率 7.7)以降低下傾向にあり、 $52 \sim 54$ 年に 3年連続 6.3と戦後最低を記録した後、ゆるやかな上昇に転じ、平成 13年(同 7.7)以降は増加傾向が顕著になり、平成 27年は前年と同じ 9.9 で過去最高となりました。 (図 3)

図3 死亡数・死亡率の年次推移



3 死 因

-3大生活習慣病のうち、悪性新生物(がん) による死亡率が低下-

死因順位の第1位は悪性新生物(がん)で、8年ぶりに減少し、平成27年の死亡数は7,562人で、前年より172人減少、死亡率(人口10万対)は294.2で、前年より6.9ポイント低下しました。悪性新生物による死亡が総死亡数に占める割合は29.7%で、3年ぶりに30%を下回りました。

第2位は心疾患の4,292人で、前年より143人増加、死亡率は167.0で、前年より5.5ポイント上昇しました。第3位は肺炎で、平成27年の死亡数は前年より126人減少の2,270人、死亡率は5.0ポイント低下し、88.3となりました。

第4位は脳血管疾患の2,084人で、死亡率は81.1となり、前年より1.0ポイント低下しました。

第5位は老衰で、死亡数は1,549人、第6位は 不慮の事故で、死亡数は532人でした。自殺は、 死亡数が 421 人となり、前年より 29 人減少しま した。自殺死亡率は 16.4 でした。

また、悪性新生物、心疾患及び脳血管疾患の3 大生活習慣病による死亡が総死亡数に占める割合 は、54.8%となりました。 (表3、図4)

-悪性新生物(がん)部位別トップは「肺」-

悪性新生物(がん)の主な部位別死亡率(人口10万対)をみると、第1位は前年に引き続き「肺」で死亡率は62.8、前年より2.0ポイント低下しました。

第2位は平成25年から引き続き「大腸」で死亡率は39.1、前年より0.4ポイント上昇しました。第3位は「胃」で死亡率は36.8で前年より1.5ポイント低下しました。第4位は「肝」で、死亡率は23.3、前年より1.3ポイント低下しました。

また、肺、大腸、胃の上位3疾患で悪性新生物 死因総数の47.1%を占めています。 (図5)

表3 死因順位

死因順位	平成 27 年	死亡数 (人)	死亡率	死亡総数 に占める 割合(%)	平成 26 年	死亡数 (人)	死亡率	全国(27年)	死亡数 (人)	死亡率
第1位	悪性新生物	7,562	294.2	29.7	悪性新生物	7,734	301.1	悪性新生物	370,131	295.2
2	心疾患	4,292	167.0	16.9	心疾患	4,149	161.5	心疾患	195,933	156.3
3	肺炎	2,270	88.3	8.9	肺炎	2,396	93.3	肺炎	120,846	96.4
4	脳血管疾患	2,084	81.1	8.2	脳血管疾患	2,109	82.1	脳血管疾患	111,875	89.2
5	老衰	1,549	60.3	6.1	老衰	1,370	53.3	老衰	84,755	67.6
6	不慮の事故	532	20.7	2.1	不慮の事故	542	21.1	不慮の事故	38,195	30.5
7	腎 不 全	520	20.2	2.0	腎 不 全	538	20.9	腎 不 全	24,532	19.6
8	自 殺	421	16.4	1.7	自 殺	450	17.5	自 殺	23,121	18.4
9	慢性閉塞性肺疾患	341	13.3	1.3	慢性閉塞性肺疾患	364	14.2	大動脈瘤及び解離	16,865	13.5
10	肝 疾 患	281	10.9	1.1	大動脈瘤及び解離	298	11.1	慢性閉塞性肺疾患	15,749	12.6

注) 平成 26 年は確定数 死亡率は人口 10 万対である。

図4 主要死因別死亡率の年次推移(人口10万対)

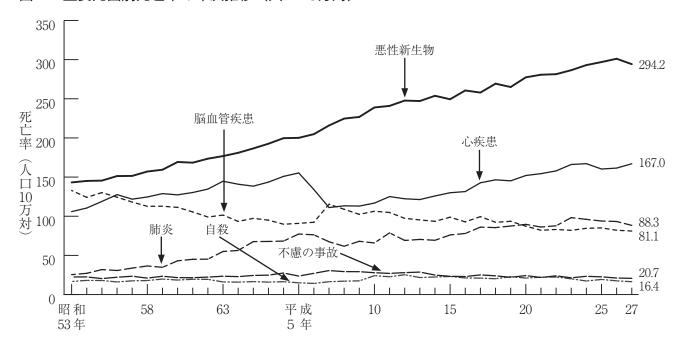
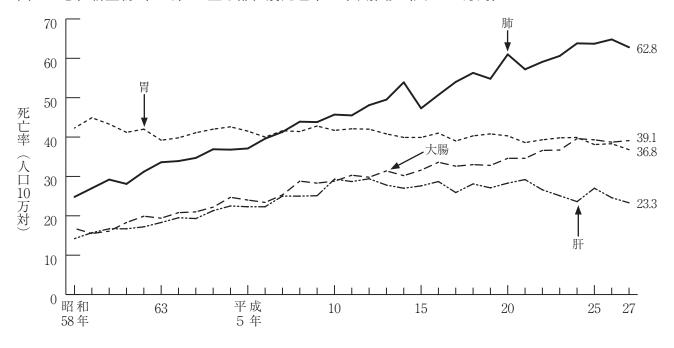


図5 悪性新生物(がん)の主な部位別死亡率の年次推移(人口10万対)



男女別死亡率をみると、男の死亡率(人口 10万対)は、「肺」が平成3年以降第1位で、27 年は91.3となり、前年より5.6ポイント低下しま した。

第2位は「胃」で 47.4 と、前年より 2.4 ポイン ト低下しました。

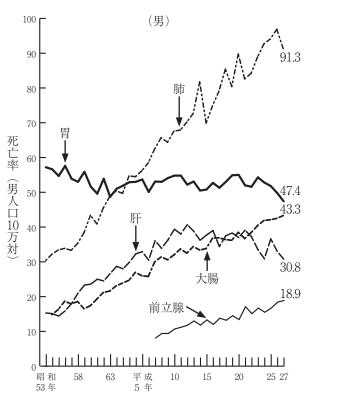
第3位は「大腸」で43.3、第4位は「肝」で30.8となりました。

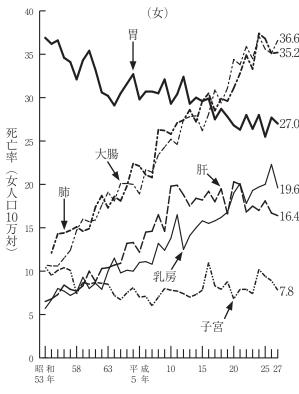
女の死亡率 (人口 10 万対) は、「肺」が 36.6 で第 1 位で、前年より 1.5 ポイント上昇しました。 第 2 位は「大腸」で 35.2、第 3 位は「胃」で 27.0 となりました。

「乳房」は19.6で前年より2.7ポイント低下しましたが、引き続き増加傾向にあります。「子宮」は7.8で前年より1.1ポイント低下しました。

(図6)

図6 悪性新生物(がん)の性別・主な部位別死亡率の年次推移(人口10万対)





- 注1 文中、図5及び図6において肺とは、気管、気管支及び肺の悪性新生物である。
 - 2 文中、図5及び図6において大腸とは、結腸と直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物である
 - 3 文中、図5及び図6において肝とは、肝及び肝内胆管の悪性新生物である。
 - 4 図6において大腸の昭和53年以前の数値は、旧厚生省で集計されていないため不明である。
 - 5 図6において前立腺の平成7年以前の数値は、旧厚生省で集計されていないため不明である。

4 乳児死亡・新生児死亡

-乳児死亡率は 0.7 ポイント上昇、新生児 死亡率は 0.8 ポイント上昇-

平成27年の乳児死亡数は50人で、前年より15人増加し、乳児死亡率(出生千対)は2.5で、前年より0.7ポイント上昇しました。

新生児死亡数は31人で、前年より16人増加し、 新生児死亡率(出生千対)は1.6で、前年より0.8 ポイント上昇しました。 (表1)

5 自然增減

ー自然減少数は昨年に引き続き5千人を超えるー

平成27年の出生数から死亡数を減じた自然増減数は、マイナス5,827人となり、依然として自然減少が続いています。自然増減率(人口千対)はマイナス2.3で、前年と同率となっています。

(表1)

6 死 産

-死産率は 1.0 ポイント低下-

平成27年の死産数は427胎で前年より20胎減少、死産率(出産千対)は21.3と、前年より1.0ポイント低下しました。 (表1)

7 婚 姻

-平均初婚年齢 夫は 31.3 歳、 妻は 29.7 歳

晩婚化 前年と同じー

平成27年の婚姻件数は1万2,431組で前年より240組減少し、婚姻率(人口千対)は4.8で、前年より0.1ポイント低下しました。 (表1)

また、平均初婚年齢は、夫31.3歳、妻29.7歳で、 男女とも前年と同じです。

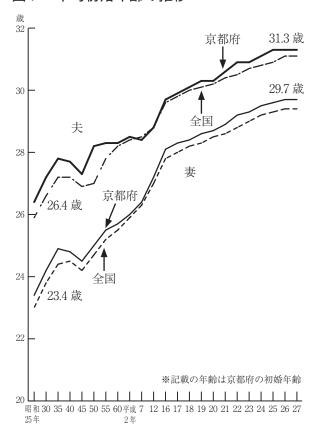
平均初婚年齢の推移をみると、昭和25年以降 は上昇傾向が続き、昭和25年(夫=26.4歳、妻 =23.4歳)と比べると、夫は4.9歳、妻は6.3歳 上昇しており、男女とも晩婚化が進んでいます。

8 離 婚

一離婚件数、離婚率ともに減少一

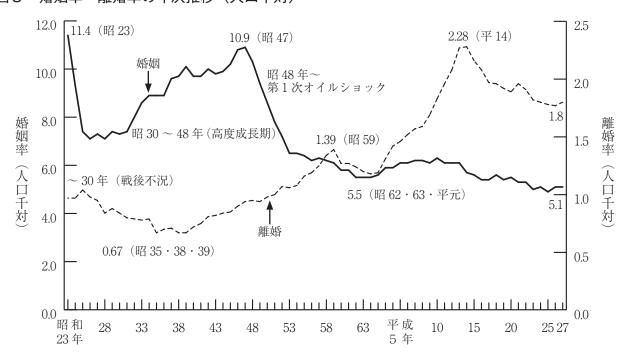
平成27年の離婚件数は4,423組で、前年より39組減少し、離婚率(人口千対)は1.72となり、前年より0.02ポイント低下しました。 (表1)

図7 平均初婚年齢の推移



離婚率の推移をみると、昭和35年、38年、39年に戦後最低(離婚率0.67)となった後上昇し、59年以降低下していましたが、平成2年から再び上昇に転じ、平成14年には過去最高の2.28を記録し、その後は減少傾向が続いています。(図8)

図8 婚姻率・離婚率の年次推移(人口千対)



(図7)

第1表 人口動態(概数)保健所、市町村別(平成27年)

		出生数			死亡数		乳 児	新生児	元 子 坐.	婚 姻	離婚	自然
区 分	総数	男	女	総数	男	女	死亡数		死産数	件 数		増加数
	人	人	人	人	人	人	人	人	胎	組	組	人
総数	19,644	10,218	9,426	25,471	12,893	12,578	50	31	427	12,431	4,423	△ 5,827
京 都 市	11,052	5,799	5,253	13,744	6,913	6,831	28	20	250	7,676		△ 2,692
その他の市町村	8,592	4,419	4,173	11,727	5,980	5,747	22	11	177	4,755		△ 3,135
乙訓保健所	1,277	654	623	1,170	602	568	2	1	22	708	232	107
向 日 市	429	205	224	414	216	198	1	_	6	243	80	15
長岡京市	714	385	329	584	301	283	_	_	13	376	134	130
大山崎町	134	64	70	172	85	87	1	1	3	89	18	△ 38
山城北保健所 宇 治 市	3,142 1,330	1,619	1,523 637	3,909 1,688	2,024 885	1,885 803	10	4	69 29	1,736 763	762 321	△ 767 △ 358
宇 治 市	1,550 550	693 297	253	756	405	351	4	1	29 7	301	117	△ 206
八 幡 市	509	240	269	665	332	333	1	_	17	293	162	△ 156
京田辺市	531	277	254	485	246	239	2	2	11	238	92	46
久 御 山 町	127	63	64	143	78	65	_	_	4	80	31	△ 16
井 手 町	42	24	18	87	51	36	_	_	_	33	16	△ 45
宇治田原町	53	25	28	85	27	58	_	_	1	28	23	△ 32
山城南保健所	974	496	478	912	464	448	_	_	15	461	167	62
木 津 川 市	664	336	328	526	268	258	_	_	12	293	112	138
笠 置 町	5	_	5	30	14	16	_	_	_	4	4	$\triangle 25$
和 束 町	11	6	5	65	32	33	_	_	_	15	4	\triangle 54
精 華 町	286	149	137	243	123	120	_	_	3	144	45	43
南山城村	8	5	3	48	27	21	_	_	_	5	2	$\triangle 40$
南 丹 保 健 所	902	472	430	1,560	787	773	3	3	20	537	221	△ 658
亀 岡 市	642	337	305	812	422	390	1	1	11	377	161	△ 170
南 丹 市	188	99	89	509	250	259	2	2	8	106	43	△ 321
京丹波町	72	36	36	239	115	124	_	-	1	54	17	△ 167
中丹西保健所	720	372	348	1,044	528	516	2	1	12	423	151	△ 324
福 知 山 市中丹東保健所	720 968	372 491	348 477	1,044 1,569	528 809	516 760	2 4	1 2	12 26	423 527	151 184	△ 324 △ 601
舞鶴市	748	379	369	1,048	542	506	3	1	21	397	149	△ 300
綾 部 市	220	112	108	521	267	254	1	1	5	130	35	△ 301
丹後保健所	609	315	294	1,563	766	797	1	_	13	363	153	△ 954
宮津市	98	56	42	338	150	188	_	_	1	56	34	<i>-</i> 240
京丹後市	357	176	181	832	428	404	1	_	8	216	85	△ 475
伊 根 町	5	1	4	52	25	27	_	_	_	14	2	$\triangle 47$
与 謝 野 町	149	82	67	341	163	178	_	_	4	77	32	△ 192

第2表 人口動態統計 実数及び率の年次推移

77 2 3	出生		生 死亡			死亡	死	産	婚 姻		離婚		自然増加	
区 分	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
昭和 22 年	53,828	(人口千対) 31.0	25,686	(人口千対) 14.8	3,705	(出生千対) 68.8	2,429	(出産千対) 43.2	18,294	(人口千対) 10.5	1,750	(人口千対)	28,142	(人口千対) 16.2
23	54,287	30.5	19,892	11.2	2,866	52.8	2,920	51.0	20,285	11.4	1,730	0.97	34,395	19.3
24	52,248	28.8	19,638	10.8	2,058	39.4	4,313	76.2	16,916	9.3	1,765	0.97	32,610	18.0
25	41,236	22.5	17,850	9.7	2,079	50.4	4,587	100.1	13,643	7.4	1,903	1.04	23,386	12.8
26	36,493	19.7	16,341	8.8	1,804	49.4	4,452	108.7	13,168	7.1	1,813	0.98	20,152	10.9
27	32,802	17.5	15,417	8.2	1,401	42.7	3,943	107.3	13,705	7.3	1,788	0.95	17,385	9.3
28	29,907	15.8	15,562	8.2	1,237	41.4	3,672	109.4	13,388	7.1	1,591	0.84	14,345	7.6
29 30	28,717 27,943	15.1 14.4	14,139 13,797	7.4 7.1	1,089 909	37.9 32.5	3,516 3,319	109.1 106.2	14,109 14,079	7.4 7.3	1,673 1,630	0.88 0.84	14,578 14,146	7.7 7.3
	İ													
31 32	27,724 26,688	14.2 13.6	15,081 15,549	7.7 7.9	963 843	34.7 31.6	3,285 3,234	105.9 108.1	14,488 15,685	7.4 8.0	1,560 1,556	0.80 0.79	12,643 11,139	6.5 5.7
33	28,665	14.5	14,356	7.3	811	28.3	3,455	107.6	17,041	8.6	1,535	0.78	14,309	7.2
34	29,282	14.7	14,610	7.3	818	27.9	3,479	106.2	17,651	8.9	1,577	0.79	14,672	7.4
35	29,194	14.6	15,265	7.7	747	25.6	3,356	103.1	17,709	8.9	1,327	0.67	13,929	7.0
36	29,213	14.6	14,866	7.4	746	25.5	3,372	103.5	17,960	8.9	1,410	0.70	14,347	7.1
37	31,129	15.4	15,080	7.4	695	22.3	3,468	100.2	19,459	9.6	1,437	0.71	16,049	7.9
38	32,108	15.7	14,555	7.1	638	19.9	3,399	95.7	19,931	9.7	1,379	0.67	17,553	8.6
39 40	34,258 36,703	16.5 17.5	14,613 15,109	7.1 7.2	612 587	17.9 16.0	3,395 3,284	90.2 82.1	20,941 20,310	10.1 9.7	1,396 1,520	0.67 0.72	19,654 21,594	9.5 10.3
41 42	27,755 39,254	13.1 18.6	14,732 14,813	6.9 7.0	475 573	17.1 14.6	2,858 2,902	93.4 68.8	20,513 21,160	9.7 10.0	1,587 1,718	0.75 0.81	13,023 24,441	6.1 11.6
43	39,234	18.3	14,813	6.9	521	13.3	2,882	68.4	21,100	9.8	1,716	0.81	24,441	11.6
44	39,750	18.3	15,135	7.0	575	14.5	2,813	66.1	21,440	9.9	1,822	0.84	24,615	11.3
45	41,235	18.7	15,577	7.0	481	11.7	2,704	61.5	22,621	10.2	1,871	0.85	35,658	11.6
46	42,413	19.1	15,279	6.9	494	11.6	2,692	59.7	24,143	10.8	2,000	0.90	27,134	12.2
47	44,107	19.4	15,208	6.7	454	10.3	2,535	54.4	24,826	10.9	2,135	0.94	28,899	12.7
48	44,885	19.5	15,995	6.9	478	10.6	2,509	52.9	23,850	10.3	2,201	0.95	28,890	12.5
49 50	43,438 39,921	18.6 16.8	15,986 15,460	6.8 6.5	433 353	10.0 8.8	2,379 2,192	51.9 52.1	21,851 20,514	9.4 8.6	2,192 2,329	0.94 0.98	27,452 24,461	11.8 10.3
51 52	38,636 36,870	16.0 15.2	15,544 15,260	6.4 6.3	344 303	8.9 8.2	2,359 1,995	57.5 51.3	28,738 17,507	7.8 7.2	2,401 2,599	1.00 1.07	23,092 21,610	9.6 8.9
53	35,943	14.6	15,464	6.3	289	8.0	1,810	47.9	16,031	6.5	2,590	1.06	20,479	8.3
54	33,464	13.5	15,553	6.3	240	7.2	1,698	48.3	16,117	6.5	2,661	1.08	17,911	7.2
55	32,139	12.9	16,059	6.5	209	6.5	1,622	48.0	15,916	6.4	2,884	1.16	16,080	6.5
56	30,498	12.2	16,174	6.5	200	6.6	1,662	51.7	15,571	6.2	2,980	1.19	14,324	5.7
57	30,493	12.1	16,059	6.4	194	6.4	1,522	47.5	15,794	6.3	3,134	1.25	14,434	5.7
58	30,627	12.1	16,214	6.4	193	6.3	1,435	44.8	15,776	6.2	3,382	1.34	14,413	5.7
59 60	30,390 28,479	12.0 11.1	16,637 16,942	6.6 6.6	181 143	6.0 5.0	1,325 1,360	41.8 45.6	15,370 14,932	6.1 5.8	3,529 3,248	1.39 1.27	13,753 11,537	5.4 4.5
61 62	28,358 26,603	11.1 10.4	16,864 16,912	6.6 6.6	148 121	5.2 4.5	1,282 1,252	43.3 44.9	14,839 14,025	5.8 5.5	3,241 3,179	1.27 1.24	11,494 9,691	4.5 3.8
63	26,192	10.2	17,608	6.9	135	5.2	1,093	40.1	14,076	5.5	3,071	1.20	8,584	3.4
平成元年	24,855	9.7	17,327	6.8	99	4.0	1,015	39.2	14,026	5.5	3,021	1.18	7,528	2.9
2	24,209	9.5	18,031	7.1	118	4.9	1,039	41.2	14,337	5.6	3,050	1.19	6,178	2.4
3	23,487	9.2	18,331	7.2	111	4.7	947	38.8	15,018	5.9	3,346	1.31	5,156	2.0
4	23,838	9.3	18,822	7.3	129	5.4	919	37.1	15,101	5.9	3,640	1.42	5,016	2.0
5	23,082	9.0	19,202 18,821	7.5	125 122	5.4	826 838	34.5	15,647 15,716	6.1	3,738 3,891	1.46 1.52	3,880	1.5
6 7	24,245 23,219	9.5 9.0	19,321	7.4 7.5	97	5.0 4.2	777	33.4 32.4	15,716	6.1 6.2	4,047	1.52	5,424 3,898	2.1 1.5
8	24,023	9.3	19,068	7.4	95	4.0	748	30.2	16,153	6.2	4,115	1.59	4,955	1.9
9	23,595	9.1	19,239	7.4	91	3.9	701	28.9	15,869	6.1	4,113	1.69	4,356	1.7
10	24,312	9.4	19,868	7.7	79	3.2	736	29.4	16,273	6.3	4,732	1.83	4,444	1.7
11	23,831	9.2	20,690	8.0	95	4.0	699	28.5	15,682	6.1	5,089	1.96	3,141	1.2
12	23,997	9.2	20,233	7.8	78	3.3	694	28.1	15,781	6.1	5,403	2.08	3,763	1.4
13	23,364	9.0	20,027	7.7	60	2.6	698	29.0	15,775	6.1	5,903	2.27	3,336	1.3
14	22,859	8.8	20,320	7.8	68	3.0	702	29.8	14,899	5.7	5,922	2.28	2,539	1.2
15 16	22,371 22,066	8.6 8.5	20,669 21,126	8.0 8.1	67 63	3.0 2.9	664 721	28.8 31.6	14,478 14,127	5.6 5.4	5,612 5,408	2.16 2.08	1,702 940	0.7 0.4
17	21,560	8.3	22,134	8.5	54	2.5	600	27.1	14,127	5.4	5,116	1.97	574 △ 574	△ 0.2
18	22,100	8.5	22,419	8.6	48	2.2	559	24.7	14,477	5.6	5,091	1.96	△ 319	△ 0.1
18	22,100	8.3	22,419	8.7	48 51	2.4	521	23.6	13,978	5.6	4,962	1.96	△ 1,022	$\triangle 0.1$ $\triangle 0.4$
20	21,842	8.4	23,015	8.9	54	2.5	507	22.7	14,239	5.5	4,877	1.89	△ 1,173	△ 0.5
21	21,058	8.2	23,191	9.0	44	2.1	432	20.1	13,640	5.3	5,054	1.96	△ 2,133	△ 0.8
22	21,234	8.2	23,714	9.1	52	2.4	482	22.2	13,664	5.3	4,964	1.91	△ 2,480	△ 1.0
23	20,707	8.0	24,733	9.5	40	1.9	476	22.5	12,900	5.0	4,713	1.82	△ 4,026	\triangle 1.6
24	20,111	7.8	25,416	9.8	40	2.0	464	22.6	13,189	5.1	4,646	1.80	△ 5,305	△ 2.1
25 26	20,106 19,583	7.8 7.6	25,332 25,507	9.8 9.9	52 35	2.6 1.8	440 447	21.4 22.3	12,746 12,671	4.9 4.9	4,581 4,462	1.78 1.74	\triangle 5,226 \triangle 5,924	\triangle 2.0 \triangle 2.3
26 27	19,583	7.6	25,307	9.9	50	2.5	447	21.3	12,431	4.9	4,462	1.74	\triangle 5,924 \triangle 5,827	△ 2.3 △ 2.3
	7 年 1 + 皿 ※		20,711	5.5	30	2.0	741	21.0	12,701	7.0	7,720	1.12	- 0,021	2.5

注 平成27年は概数である。